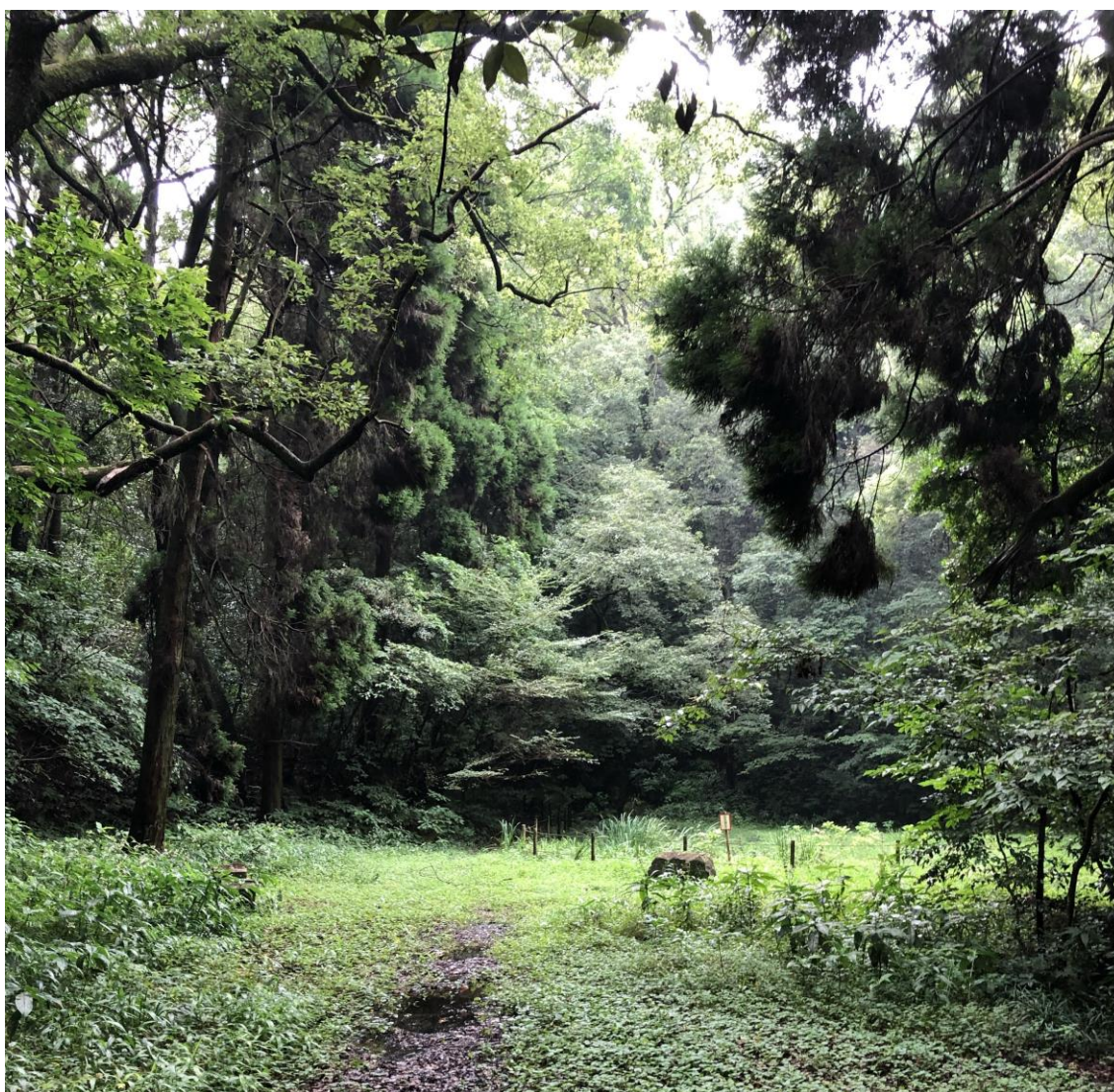


令和元年度 大牟田市自然環境調査報告書

延命公園 調査



旧日本庭園

令和2年3月
大牟田市

はじめに

大牟田市では、平成 24 年 3 月に「第 2 次環境基本計画」を策定し、自然共生社会の実現を基本方針のひとつに掲げ、自然環境の保全を重要な課題のひとつと位置づけ、自然環境に関する調査を実施し、自然環境保全の基礎資料としています。

本報告書は、令和元年度に実施した片平山地区（延命公園）の自然環境調査結果を分野ごとに取りまとめたものです。

目 次

1	調査目的	1
2	調査分野と調査実施期間	1
3	調査区域	2
4	調査方法	3
5	調査結果	4
(1)	植生・植物	4
(2)	鳥類	15
(3)	昆虫類・クモ類	17
(4)	は虫類・両生類	24
(5)	ほ乳類	26
(6)	魚介類	27
6	まとめ	28

1 調査目的

本調査は、大牟田市第2次環境基本計画（平成24年3月）に基づき、自然環境保全の基礎資料とするとともに、市民・事業者等の啓発に資するため実施した。

2 調査分野と調査実施期間

調査対象分野は表1の各分野とし、担当の大牟田市自然環境調査研究専門委員が春期、秋期の2回調査を実施した。

表1. 調査分野と担当専門委員

分 野	担当専門委員	春期調査	秋期調査
植生・植物	中島 健晴	R1.5.28	R1.9.24
鳥 類	永江 和彦	R1.5.29	R1.10.8
昆虫類・クモ類	中嶋 秀利	R1.5.29	R1.10.8
は虫類・両生類	松永 公幸	R1.6. 1	R1.9.14
ほ乳類	尾形 健二	R1.5.29	R1.10.8
魚介類	嶺井 久勝	R1.5.29	R1.10.1

3 調査区域

本調査では、諏訪川に隣接し標高 52mの小高い丘陵地にある延命公園を調査地区とした。(図 1。
赤点線：調査区域、黄線：調査ルート)

延命公園は、南部市街地のほぼ市中心部に位置し、大きな樹木や深い谷など豊かな自然に囲まれ、自然観察会やウォーキングなども盛んに行われている。本来は片平山と呼ばれ、一昔前までは山全体が松の山と形容されるほどアカマツが山一面に繁茂していた。

1940 年から大牟田市で最初の都市公園として整備がはじまり、体育館、プール、動物園などの施設が建設されるとともにクスノキ、ムクノキなどの自然林からサクラ、スギ、イスノキなどの植栽が片平山の北側、西側、南側へと進められた。その結果、現在も自然植生が幾分残っている地域は、東側谷部の旧日本庭園周辺に限られている。

また、同公園には、国のレッドリストおよび県のレッドデータで絶滅危惧種に指定されているカシミサンショウウオも生息している。

図 1. 調査区域・ルート図



4 調査方法

本調査は、目視確認による現地調査を基本とし、必要に応じて聴き取り調査や文献調査等を行うこととした。

確認された生物種は分野ごとに一覧表にまとめた。表中備考欄に記載した記号の意味は以下のとおり。

表2. 表中で使用した記号の意味

記 号	用 語	意 味
I A 類	絶滅危惧 I A 類	ごく近い将来での絶滅の危険性が極めて高い種。
I B 類	絶滅危惧 I B 類	I A 類ほどではないが、近い将来での絶滅の危険性が高い種。
II 類	絶滅危惧 II 類	絶滅の危険が増大しており、将来的に絶滅のおそれのある種。
準絶	準絶滅危惧	当面絶滅のおそれはないが、その傾向が強まっている種。
(国)	環境省レッドリスト	環境省レッドリストを示す。
(県)	福岡県レッドデータ	福岡県レッドデータを示す。
特外	特定外来生物	外来生物（海外起源の外来種）であって、生態系、人の生命・身体、農林水産業へ被害を及ぼすもの、又は及ぼすおそれがあるもので、国が指定したもの。
植物のみ	木	木本類
	外	外来植物
	逸	植栽逸出

5 調査結果

(1) 植生・植物

維管束植物（シダ植物及び種子植物）を対象として調査を行い、維管束植物 95 科 303 種（シダ植物 14 科 31 種、種子植物 81 科 272 種）が確認された。

表 3. 確認された植物の調査結果

分類群		のべ		春季		秋季	
		科	種	科	種	科	種
維管束植物		95	303	79	209	81	227
	シダ植物	14	31	14	27	11	21
	種子植物	81	272	65	182	70	206
	裸子植物	4	5	2	2	3	4
	被子植物	77	267	63	180	67	202
	双子葉類	68	194	55	137	59	151
	離弁花類	46	129	38	89	39	94
	合弁花類	22	65	17	48	20	57
	単子葉類	9	73	8	43	8	51

表 4. 確認された主な植物

科 名	和 名
 アゼオトギリ（写真出典：愛媛県レッドデータブック）	国：絶滅危惧ⅠＢ類 県：絶滅危惧ⅠＢ類 草原や休耕田、田畑の畦など日当たりがよく比較的湿った場所を好む多年草。7～8 月に 7～8mm の黄色い花弁を持つ花が開花する。叢生する茎は、主に匍匐または斜上するため、立ち上がっても 40cm 程度にしか達しない。 （出典：福岡県レッドデータブック 2001）
 ミゾコウジュ	県：準絶滅危惧 湿った草地や畦に生え、高さ 30～70cm になる越年草。長楕円形のロゼット葉を有し、根出葉は長い柄がある。花時には枯れる。茎は 4 角形で直立する。花穂は 8～10cm ほどに伸び淡紫色の花をつける。萼(ガク)は長さ 2.5～3mm 唇形で花が終わると左右に口を閉じ、果時には 4mm になってまた開く。 （出展：筑波実験植物園・植物図鑑）

表5. 確認された植物

No.1

科 名	種 名 (和 名)	春季調査	秋季調査	備 考
		5 月 28 日	9 月 24 日	
シダ植物 (14 科 31 種)				
イノモトソウ科	イノモトソウ	○	○	
イワヒバ科	タチクラマゴケ	○		
ウラジロ科	ウラジロ	○	○	
	コシダ	○	○	
ウラボシ科	ノキシノブ	○	○	
	ミツデウラボシ		○	
オシダ科	イノデ	○		
	オオカナワラビ	○		
	オオベニシダ	○		
	オニヤブソテツ	○	○	
	ナガバノイタチシダ	○	○	
	ナガバヤブソテツ	○	○	
	ベニシダ	○	○	
キジノオシダ科	オオキジノオ	○		
	キジノオシダ	○		
コバノイシカグマ科	フモトシダ	○	○	
	ワラビ		○	
ゼンマイ科	ゼンマイ	○	○	
ヒメシダ科	コハシゴシダ	○	○	
	ヒメワラビ	○	○	
	ホシダ	○	○	
	ミゾシダ		○	
	ヤワラシダ	○	○	
フサシダ科	カニクサ	○	○	
ミズワラビ科	タチシノブ		○	
	ホウライシダ	○		
メシダ科	コクモウクジャク	○		(県) I A類
	シケチシダ	○		
	シロヤマシダ	○		
シシガシラ科	オオカグマ	○	○	
ホングウシダ科	ホラシノブ	○	○	

表5. 確認された植物

No.2

科 名	種 名 (和 名)	春季調査	秋季調査	備 考
		5 月 28 日	9 月 24 日	
種子植物 (81 科 272 種)				
└うち、裸子植物 (4 科 5 種)				
イチョウ科	イチョウ	○		木
スギ科	スギ		○	木
ヒノキ科	ヒノキ		○	木・(県)準絶
マツ科	アカマツ		○	木
	クロマツ	○	○	木
└うち、被子植物 (77 科 267 種)				
└─うち、双子葉類 (68 科 194 種)				
└──うち、離弁花類 (46 科 129 種)				
アオイ科	フヨウ		○	木
アカバナ科	コマツヨイグサ		○	外
アケビ科	アケビ		○	木
	ミツバアケビ		○	木
	ムベ	○		木
イラクサ科	アオミズ		○	
	カラムシ	○		
	メヤブマオ	○		
	ヤブマオ	○	○	
ウリ科	アマチャヅル	○	○	
	カラスウリ	○	○	
	キカラスウリ	○	○	
ウルシ科	ヌルデ	○	○	木
	ハゼノキ	○	○	木
	ヤマハゼ		○	木
ウコギ科	カクレミノ	○	○	木
	キヅタ		○	木
	タラノキ		○	木
	ハリギリ		○	木
	ヤツデ	○	○	木
オトギリソウ科	アゼオトギリ	○		(国) I B・(県) I B
カエデ科	イロハカエデ		○	木
カタバミ科	オッタチカタバミ	○	○	外

表5. 確認された植物

No.3

科 名	種 名 (和 名)	春季調査	秋季調査	備 考
		5 月 28 日	9 月 24 日	
——離弁花類（続）				
カタバミ科（続）	カタバミ	○	○	
	ムラサキカタバミ	○		外
カタヒバ科	ヒメカタヒバ		○	
キンポウゲ科	キツネノボタン	○		
クスノキ科	イヌガシ	○		木
	クスノキ	○	○	木
	シロダモ	○	○	木
	タブノキ	○	○	木
	ヤブニッケイ	○	○	木
グミ科	ナワシログミ	○		木
クワ科	イタビカズラ		○	木
	イヌビワ	○	○	木
	オオイタビ	○	○	木
	カナムグラ	○	○	
シキミ科	シキミ		○	木
スベリヒユ科	スベリヒユ		○	
スマレ科	スマレ	○	○	
セリ科	ウマノミツバ	○		
	オヤブジラミ	○		
	チドメグサ		○	
	ノチドメ	○	○	
	マツバゼリ	○		外
	ミツバ	○	○	
	ヤブジラミ	○		
	ヤブニンジン	○		
センダン科	センダン	○	○	木
センリョウ科	センリョウ	○	○	木
タデ科	アレチギンギシ	○		外
	イヌタデ		○	
	シンミズヒキ	○		
	ヒメツルソバ		○	外
	ミズヒキ		○	

表5. 確認された植物

No.4

科 名	種 名 (和 名)	春季調査	秋季調査	備 考
		5 月 28 日	9 月 24 日	
——離弁花類（続）				
ツツラフジ科	アオツツラフジ	○		木
ツバキ科	サザンカ		○	木・(県)準絶
	ヒサカキ	○	○	木
	モッコク	○		木
	ヤブツバキ	○	○	木
トウダイグサ科	アカメガシワ	○		木
	アレチニシキソウ		○	外
	エノキグサ		○	
	コニシキソウ		○	外
	コミカンソウ		○	
	ナンキンハゼ	○	○	木・外
ドクダミ科	ドクダミ	○	○	
トベラ科	トベラ	○	○	木
ナデシコ科	オランダミミナグサ	○		外
	コハコベ	○	○	
	ツメクサ	○		
ニガキ科	ニガキ	○		木
	ニワウルシ		○	木・外
ニシキギ科	コマユミ	○		木
	ツルウメモドキ	○	○	木
	ヒメマサキ		○	(国)Ⅱ類
	マサキ	○		木
ニレ科	アキニレ		○	木
	エノキ	○	○	木
	ムクノキ	○	○	木
バラ科	カナメモチ		○	木
	キンミズヒキ	○		
	クサイチゴ	○	○	木
	シャリンバイ	○	○	木
	ナワシロイチゴ		○	木
	ノイバラ	○	○	木
	ビワ	○		木

表5. 確認された植物

No.5

科 名	種 名 (和 名)	春季調査	秋季調査	備 考
		5 月 28 日	9 月 24 日	
——離弁花類（続）				
バラ科（続）	フユイチゴ	○	○	木
	ヘビイチゴ	○		
	ヤブヘビイチゴ	○		
	ヤマザクラ		○	木
ヒユ科	イノコヅチ	○		
	ヒカゲイノコヅチ		○	
フウロソウ科	アメリカフウロ	○		外
ブトウ科	エビヅル	○		木
	ツタ		○	木
	ノブドウ	○	○	木
	ヤブガラシ	○	○	
ブナ科	アラカシ		○	木
	クヌギ	○	○	木
	ツブラジイ		○	木
	コナラ	○	○	木
ベンケイソウ科	コモチマンネングサ	○		
マツブサ科	サネカズラ	○	○	木
マメ科	アレチヌスビトハギ	○	○	外
	クズ	○	○	
	コマツナギ		○	木
	コメツブツメクサ	○		外
	シロツメグサ	○	○	外
	ナツフジ	○	○	木
	ヌスビトハギ	○	○	
	ネコハギ	○	○	
	ネムノキ	○	○	木
	ノダフジ		○	木
	ハイメドハギ		○	
	メドハギ	○	○	
	ヤハズエンドウ	○		
	ヤハズソウ	○	○	
	ヤブハギ		○	

表5. 確認された植物

No.6

科 名	種 名 (和 名)	春季調査	秋季調査	備 考
		5 月 28 日	9 月 24 日	
└─離弁花類（続）				
マメ科（続）	ヤマフジ		○	木
ミカン科	カラスザンショウ		○	木
ミズキ科	ナンゴクアオキ	○	○	木
メギ科	ナンテン	○	○	木
モチノキ科	クロガネモチ	○	○	木
	ナナミノキ	○	○	木
	モチノキ	○		木
ヤマモガシ科	ヤマモガシ		○	木
ユキノシタ科	コガクウツギ	○		木
ユズリハ科	ヒメユズリハ	○	○	木
└─うち、合弁花類 （22 科 65 種）				
アカネ科	クチナシ	○	○	木
	ハクチョウゲ		○	木・逸・（国）I B
	ヒメヨツバムグラ	○	○	
	ヘクソカズラ	○	○	
エゴノキ科	エゴノキ	○	○	木
オオバコ科	オオバコ	○	○	
ガガイモ科	ガガイモ		○	
カキノキ科	カキノキ	○	○	木
キキョウ科	キキョウソウ	○		外
キク科	アキノノゲシ		○	
	イワニガナ	○	○	
	ウラジロチチコグサ	○	○	外
	オオアレチノギク	○	○	外
	オオオナモミ		○	外
	オオキンケイギク	○	○	特外
	オニタビラコ	○	○	
	コセンダングサ	○	○	外
	セイタカアワダチソウ	○	○	外
	セイヨウタンポポ	○	○	外
	チチコグサ	○	○	
	チチコグサモドキ		○	外

表5. 確認された植物

No.7

科 名	種 名 (和 名)	春季調査	秋季調査	備 考
		5 月 28 日	9 月 24 日	
└─合弁花類（続）				
キク科（続）	ニガナ	○	○	
	ハハコグサ	○	○	
	ハルノノゲシ	○		
	ヒメジョオン	○	○	外
	ヒメムカシヨモギ		○	外
	ヒヨドリバナ	○	○	
	フキ	○	○	
	ムラサキニガナ	○	○	
	メリケントキンソウ	○		外
	ヤブタバコ	○		
	ヨメナ	○	○	
	ヨモギ	○	○	
キツネノマゴ科	キツネノマゴ		○	
キョウチクトウ科	ケテイカカズラ		○	木
	テイカカズラ	○	○	木
クマツヅラ科	アレチハナガサ	○		外
	クサギ	○	○	木
ゴマノハグサ科	ウリクサ		○	
サクラソウ科	オカトラノオ	○		
	コナスビ	○	○	
シソ科	シソ		○	
	セイヨウジュウニヒトエ	○	○	外
	トウバナ	○	○	
	ミゾコウジュ	○		(県)準絶
スイカズラ科	キダチニンドウ	○	○	木
	サンゴジュ		○	木
	スイカズラ	○	○	木
	ニワトコ	○	○	木
ツツジ科	シャシャンボ	○	○	木
	ネジキ	○	○	木
ナス科	オオイヌホオズキ		○	外
	ヒロハフウリンホオズキ		○	外

表5. 確認された植物

No.8

科 名	種 名 (和 名)	春季調査	秋季調査	備 考
		5 月 28 日	9 月 24 日	
└─合弁花類（続）				
ハイノキ科	クロキ	○	○	木
ヒルガオ科	アサガオ		○	
	アメリカアサガオ		○	外
	ホシアサガオ		○	外
ムラサキ科	キュウリグサ	○		
モクセイ科	ウスギモクセイ		○	木・(国)準絶
	トウネズミモチ	○	○	木・外
	ネズミモチ	○	○	木
	ヒイラギ	○	○	木
	ヒイラギモクセイ	○	○	木
ヤブコウジ科	マンリョウ	○	○	木
ヤマゴボウ科	ヨウシュヤマゴボウ	○	○	外
└─うち、単子葉類 (9 科 73 種)				
アヤメ科	オオニワゼキショウ	○		外
	キショウブ	○		外
	ニワゼキショウ	○		外
	ヒメヒオウギズイセン	○	○	外
イグサ科	クサイ	○		
	スズメノヤリ	○		
イネ科	アオカモジグサ	○		
	アキノエノコログサ		○	
	アキメヒシバ		○	
	アシ		○	
	アシボソ	○		
	イタチガヤ	○		
	エノコログサ		○	
	オカメザサ		○	
	オニウシノケグサ	○		外
	カゼクサ		○	
	カモガヤ	○		外
	カモジグサ	○		
	ギョウギシバ		○	外

表5. 確認された植物

No.9

科 名	種 名 (和 名)	春季調査	秋季調査	備 考
		5 月 28 日	9 月 24 日	
└─ 単子葉類 (続)				
イネ科 (続)	キンエノコロ		○	
	コスズメガヤ		○	外
	コツブキンエノコロ		○	
	コメヒシバ		○	
	ササガヤ	○	○	
	ササクサ	○	○	
	シバ	○	○	
	シマスズメノヒエ		○	外
	ススキ	○	○	
	スズメノヒエ		○	
	タチスズメノヒエ	○	○	外
	チガヤ	○	○	
	チヂミザサ	○	○	
	トウササクサ		○	
	トウチク		○	外
	トダシバ		○	
	トボシガラ	○		
	ヌカボ	○		
	ネザサ	○	○	
	ネズミノオ		○	
	ハナヌカススキ	○		外
	ヒメコバンソウ	○		外
	ヒメモロコシ		○	外
	メガルカヤ		○	外
	メダケ	○	○	
	メリケンカルカヤ	○	○	外
	ヤマヌカボ	○		
カヤツリグサ科	アオスゲ	○		
	イヌクグ		○	
	カヤツリグサ		○	
	クグガヤツリ		○	
	ジュズスゲ	○		

表5. 確認された植物

No.10

科 名	種 名 (和 名)	春季調査	秋季調査	備 考
		5 月 28 日	9 月 24 日	
└─ 単子葉類 (続)				
カヤツリグサ科 (続)	シラスゲ	○	○	
	テンツキ		○	
	ナキリスゲ		○	
	ハマスゲ		○	
	ヒメクグ		○	
	マスクサ	○		
ツユクサ科	ツユクサ	○	○	
	マルバツユクサ	○	○	
	ミドリハカタカラクサ		○	外
	ヤブミョウガ	○	○	
ヒガンバナ科	タマスダレ		○	外
ヤシ科	シュロ	○	○	木
ヤマノイモ科	カエデドコロ		○	
	ヤマノイモ	○	○	
ユリ科	ウバユリ	○		
	オニユリ	○		
	サルトリイバラ	○	○	木
	ジャノヒゲ	○	○	
	ツルボ		○	
	ナガバジャノヒゲ	○	○	
	ホウチャクソウ	○		
	ヤブラン	○	○	

(2) 鳥類

5 目 16 科 23 種が確認された。

表 6. 確認された主な鳥類

和 名	種 類
 センダイムシクイ (写真出典：ウィキペディア)	県: 絶滅危惧Ⅱ類 全長 12.5cm。ロシア東南部、中国東北部、朝鮮半島、日本で繁殖し、東南アジア、インドで越冬する。日本では九州以北に夏鳥として渡来し、山地の広葉樹林で繁殖する。林内の斜面の崖地に巣を作る。1 巣卵数は 4～6 個。樹上で昆虫類を捕食する。 (出典:福岡県レッドデータブック 2011)
 オオルリ (写真出典：ウィキペディア)	県: 準絶滅危惧 県内には 3 月末～4 月上旬頃渡来し、山地の沢沿いの林を好んで生息する。繁殖期に雄は木の梢付近で大きな声でさえずる。渡去は 9 月末頃で、この時期には 10 羽程度の群れを確認する事もある。 (出典:福岡県レッドデータブック 2001)

表 7. 確認された鳥類

No.1

科 名	種 名 (和 名)	春季調査	秋季調査	備 考
		5 月 29 日	10 月 8 日	
キツツキ目 (1 科 2 種)				
キツツキ科	アオゲラ	○		
	コゲラ	○	○	
コウノトリ目 (1 科 1 種)				
サギ科	アオサギ	○		
スズメ目 (12 科 17 種)				
アトリ科	カワラヒワ	○	○	
ウグイス科	ウグイス		○	
	センダイムシクイ		○	(県)Ⅱ類
エナガ科	エナガ	○	○	
カラス科	カササギ	○		
	ハシブトガラス	○	○	

表7. 確認された鳥類

No.2

科 名	種 名 (和 名)	春季調査	秋季調査	備 考
		5 月 29 日	10 月 8 日	
スズメ目（続）				
カラス科（続）	ハシボソガラス	○	○	
シジュウカラ科	シジュウカラ	○	○	
	ヤマガラ	○	○	
スズメ科	スズメ	○		
セキレイ科	ハクセキレイ	○		
ツバメ科	ツバメ	○		
ヒタキ科	オオルリ		○	(県)準絶
	キビタキ	○		
ヒヨドリ科	ヒヨドリ	○	○	
ムクドリ科	ムクドリ	○		
メジロ科	メジロ	○	○	
タカ目（1科1種）				
ハヤブサ科	チョウゲンボウ		○	
ハト目（1科2種）				
ハト科	アオバト	○		
	キジバト	○	○	

(3) 昆虫類・クモ類

12 目 61 科 142 種の昆虫類、1 目 13 科 24 種のクモ類が確認された。

表 8. 確認された主な昆虫類・クモ類

和 名	種 類
 マイマイカブリ	県：準絶滅危惧 かつては、県内の平地～山地まで広く分布し都市近郊の公園、里山、畑地等でも普通に見られた種で、都市化や大型陸産貝類の減少で大きくその数を減らしている。山地や河川においては減少は少ない。 (出典：福岡県レッドデータブック 2014)
 メスグロヒョウモン	県：準絶滅危惧 九州など温暖な地域では 6 月上旬から羽化し、夏眠ののち 9 月中旬～11 月上旬にかけて活動が再開され産卵する。生息地は、広陵地から山地の樹林の周辺、林間の空地、疎林などで、開けた草原ではまれにしか見かけない。 (出典：福岡県レッドデータブック 2001)

表 9. 確認された昆虫類・クモ類

No.1

科 名	種 名 (和 名)	春季調査	秋季調査	備 考
		5月29日	10月8日	
アミメカゲロウ目 (1科1種)				
ウスバカゲロウ科	ウスバカゲロウ	○	○	
カマキリ目 (1科2種)				
カマキリ科	オオカマキリ	○	○	
	ハラビロカマキリ	○	○	
カメムシ目 (6科10種)				
アメンボ科	ナミアメンボ	○	○	
オオヨコバイ科	ツマグロオオヨコバイ	○	○	
カメムシ科	アオクサカメムシ	○	○	
	エビイロカメムシ		○	
	キマダラカメムシ		○	

表9. 確認された昆虫類・クモ類

No.2

科 名	種 名 (和 名)	春季調査	秋季調査	備 考
		5月29日	10月8日	
カメムシ目（続）				
カメムシ科（続）	クサギカメムシ		○	
	チャバネアオカメムシ	○	○	
ツチカメムシ科	ツチカメムシ	○	○	
マツモムシ科	マツモムシ	○	○	
マルカメムシ科	マルカメムシ	○	○	
コウチュウ目（12科23種）				
オトシブミ科	ハイイロチョッキリ		○	
オサムシ科	マイマイカブリ	○		(県)準絶
カミキリムシ科	クビアカトラカミキリ	○		
	ゴマダラカミキリ		○	
	ノコギリカミキリ		○	
	マツノマダラカミキリ		○	
	ラミーカミキリ	○		
クワガタムシ科	コクワガタ	○		
ゲンゴロウ科	ハイイロゲンゴロウ		○	
コガネムシ科	アオドウコガネ	○		
	カブトムシ		○	
	コブマルエンマコガネ		○	
	ヒメコガネ	○	○	
	マメコガネ	○	○	
ゴミムシダマシ科	キマワリ	○	○	
	ユミアシゴミムシダマシ	○	○	
シデムシ科	オオヒラタシデムシ	○		
センチコガネ科	センチコガネ	○	○	
テントウムシ科	ナナホシテントウ	○	○	
	ナミテントウ	○	○	
ハムシ科	イタドリハムシ	○	○	
	クロウリハムシ	○	○	
ホタル科	ムネクリイロボタル	○		
ゴキブリ目（1科1種）				
チャバネゴキブリ科	モリチャバネゴキブリ	○	○	

表9. 確認された昆虫類・クモ類

No.3

科 名	種 名 (和 名)	春季調査	秋季調査	備 考
		5月29日	10月8日	
ザトウムシ目 (1科1種)				
マザトウムシ科	オオナミザトウムシ	○		
チョウ目 (13科49種)				
アゲハチョウ科	アオスジアゲハ	○	○	
	アゲハチョウ	○	○	
	カラスアゲハ	○	○	
	クロアゲハ	○		
	ナガサキアゲハ	○	○	
	モンキアゲハ	○	○	
イラガ科	ヒロヘリアオイラガ	○	○	
カノコガ科	カノコガ	○		
シジミチョウ科	ウラギンシジミ	○	○	
	ウラナミシジミ		○	
	クロマダラソテツシジミ		○	
	ツバメシジミ	○	○	
	ベニシジミ	○		
	ムラサキシジミ	○	○	
	ムラサキツバメ	○	○	
	ヤマトシジミ	○	○	
	ルリシジミ	○	○	
シャクガ科	ウメエダシャク	○		
	トンボエダシャク	○		
	ユウマダラエダシャク		○	
シロチョウ科	キタキチョウ	○	○	
	スジグロチョウ	○		
	モンシロチョウ	○	○	
スズメガ科	オオスカシバ	○	○	
セセリチョウ科	イチモンジセセリ	○	○	
	ダイミョウセセリ	○		
	チャバネセセリ		○	
タテハチョウ科	アカタテハ	○	○	
	イシガケチョウ	○	○	
	キタテハ	○	○	

表9. 確認された昆虫類・クモ類

No.4

科 名	種 名 (和 名)	春季調査	秋季調査	備 考
		5月29日	10月8日	
チョウ目（続）				
タテハチョウ科（続）	クロコノマチョウ		○	
	クロヒカゲ		○	
	コジャノメ	○		
	ゴマダラチョウ		○	
	コミスジ		○	
	ツماغロヒョウモン	○	○	
	テングチョウ	○	○	
	ヒメアカタテハ	○	○	
	ヒメウラナミジャノメ	○		
	ヒメジャノメ	○	○	
	メスグロヒョウモン	○		(県)準絶
	ルリタテハ		○	
ドクガ科	キドクガ	○	○	
	チャドクガ	○	○	
ミノガ科	シバミノガ	○	○	
	チャミノガ	○	○	
メイガ科	マエアカスカシノメイガ		○	
ヤガ科	ハスモンヨトウ	○	○	
	フタトガリコヤガ	○	○	
トンボ目（8科22種）				
アオイトトンボ科	アオイトトンボ	○	○	
イトトンボ科	アオモンイトトンボ	○		
	セスジイトトンボ	○	○	
オニヤンマ科	オニヤンマ		○	
カワトンボ科	ハグロトンボ	○	○	
サナエトンボ科	タイワンウチワヤンマ	○	○	
トンボ科	ウスバキトンボ	○	○	
	オオシオカラトンボ	○	○	
	コシアキトンボ	○		
	シオカラトンボ	○	○	
	シオヤトンボ	○		
	タイリクアカネ		○	

表9. 確認された昆虫類・クモ類

No.5

科 名	種 名 (和 名)	春季調査	秋季調査	備 考
		5月29日	10月8日	
トンボ目（続）				
トンボ科（続）	ノシメトンボ		○	
	ハラビロトンボ	○		
	マユタケアカネ		○	
ヤマトンボ科	オオヤマトンボ	○		
ヤンマ科	カトリヤンマ	○	○	
	ギンヤンマ	○	○	
	クロスジギンヤンマ	○	○	
	サラサヤンマ	○		
	ハネビロトンボ		○	
	ヤブヤンマ		○	
ナナフシ目（1科1種）				
ナナフシ科	エダナナフシ	○		
ハエ目（6科8種）				
アシナガハエ科	マダラアシナガハエ	○	○	
カ科	ヒトスジシマカ	○	○	
クロバエ科	センチニクバエ	○	○	
ハナアブ科	シマハナアブ	○	○	
	ホソヒラタアブ	○	○	
ムシヒキアブ科	シオヤアブ	○		
	マガリムシヒキ	○		
ヤドリバエ科	トガリハリバエ		○	
ハチ目（4科11種）				
アリ科	アミメアリ		○	
	オオシワアリ		○	
	クロオオアリ		○	
	トビイロシワアリ		○	
スズメバチ科	オオスズメバチ	○	○	
	キイロスズメバチ		○	
	セグロアシナガバチ	○	○	
ミツバチ科	キムネクマバチ	○	○	
	セイヨウミツバチ	○	○	
	ニホンミツバチ	○	○	

表9. 確認された昆虫類・クモ類

No.6

科 名	種 名 (和 名)	春季調査	秋季調査	備 考
		5月29日	10月8日	
ハチ目（続）				
ミフシハバチ科	ルリチュウレンジ	○		
バッタ目（7科13種）				
イナゴ科	ツチイナゴ	○	○	
オンブバッタ科	オンブバッタ	○	○	
キリギリス科	クサキリ	○	○	
	サトクダマキモドキ		○	
	セスジツユムシ		○	
コオロギ科	ツツレサセコオロギ		○	
	ミツカドコオロギ		○	
バッタ科	イボバッタ	○	○	
	ショウリョウバッタ	○		
	マダラバッタ		○	
ヒシバッタ科	ヒシバッタ	○	○	
ヒバリモドキ科	キンヒバリ	○	○	
	クサヒバリ	○	○	
クモ目（13科24種）				
アシダカグモ科	アシダカグモ	○		
アシナガグモ科	チュウガタシロカネグモ	○	○	
	ヤサガタアシナガグモ	○	○	
ウズグモ科	ウズグモ		○	
カニグモ科	アズチグモ		○	
	ハナグモ	○		
	ヤミイロカニグモ	○		
コガネグモ科	コガネグモ	○	○	
	ゴミグモ	○	○	
	サツマノミダマシ	○	○	
	ナガコガネグモ	○	○	
コモリグモ科	ウヅキコモリグモ	○	○	
	ハラクロコモリグモ	○	○	
ササグモ科	ササグモ	○	○	
ジグモ科	ジグモ	○	○	
ジョロウグモ科	ジョロウグモ	○	○	

表9. 確認された昆虫類・クモ類

No.7

科 名	種 名 (和 名)	春季調査	秋季調査	備 考
		5月29日	10月8日	
クモ目（続）				
タナグモ科	クサグモ	○	○	
	クロヤチグモ	○	○	
ハエトリグモ科	アオオビハエトリ	○	○	
	ネコハエトリ	○	○	
	マミジロハエトリ	○	○	
ヒメグモ科	オオヒメグモ	○	○	
	ヒメグモ	○	○	
ヒラタグモ科	ヒラタグモ	○		

(4) は虫類・両生類

2 目 4 科 4 種のは虫類、2 目 6 科 6 種の両生類が確認された。

表 10. 確認された主な は虫類・両生類

和 名	種 類
 ヤマアカガエル (写真出典：ウィキペディア)	県:絶滅危惧Ⅱ類 ニホンアカガエルに似るが顎の下に顕著な黒斑をもつこと、背側隆起の前縁が開いていることなどで区別できる。森林内で生活し冬から早春にかけて溝や湿地に大型の卵塊を産む。 (出典:福岡県レッドデータブック 2014)
 ニホンヒキガエル (出典：福岡県レッドデータブック)	県:絶滅危惧Ⅱ類 地上生活をする大型種で、体長は 10cm を越す。通常、体表は乾いており、多数の小隆起が散在する。鼓膜の上に分泌腺の集中した耳腺をもつ。体色は黒味がかかったものから赤褐色まで変異が多い。春に水中に長い紐状^{ひも}の卵塊を産む。 (出典:福岡県レッドデータブック 2014)
 カスミサンショウウオ (出典：福岡県レッドデータブック)	国:絶滅危惧Ⅱ類 県:絶滅危惧Ⅱ類 最大全長 13cm ほどで、黄褐色～暗褐色の体色に多くの個体で尾の上部に黄色の条線が見られる。繁殖期は 1～4 月頃で、1 対の卵のうを水底の落枝や小石等に産みつける。幼生は 4 ヶ月ほどで変態し、上陸後は周辺の雑木林や竹林に分散し土壤動物を食べて生活する。 (出典:福岡県レッドデータブック 2014)

表 11. 確認された は虫類・両生類

科 名	種 名 (和 名)	春季調査	秋季調査	備 考
		6 月 1 日	9 月 14 日	
は虫綱 カメ目 (1 科 1 種)				
スッポン科	スッポン		○	人為的放流と思われる
は虫類 有鱗目 (3 科 3 種)				
カナヘビ科	ニホンカナヘビ	○	○	
クサリヘビ科	ニホンマムシ		○	
トカゲ科	ニホントカゲ	○	○	
両生綱 無尾目 (4 科 4 種)				
アオガエル科	シュレーゲルアオガエル	○		
アカガエル科	ヤマアカガエル	○	○	(県)Ⅱ類
アマガエル科	ニホンアマガエル	○	○	
ヒキガエル科	ニホンヒキガエル	○		(県)Ⅱ類
両生綱 有尾目 (2 科 2 種)				
サンショウウオ科	カスミサンショウウオ	○		(国)Ⅱ類・(県)Ⅱ類
ヤモリ科	ニホンヤモリ	○	○	

(5) ほ乳類

2目2科3種のほ乳類が確認された。

表12. 確認された主な ほ乳類

和 名	種 類
 テンの糞	テンは本州、四国、九州、淡路島、対馬に分布する。毛色は黄色から褐色まで変異が多い。頭胴長45cm、尾長19cm、体重1.1～1.5kg。耳介がはっきりと外に出る。樹上空間を多く利用するため森林を生息地とするが、樹木があれば人家周辺にもみられる。 (出典:日本の哺乳類[改訂版]阿部永)
 ヒミズの穴	地中の浅い部分にトンネルを掘って生活し、地表でもかなり活動するなど、地下生活への適応度合いが低い半地下性の動物。地表に出るのは夜間のことが多いようだが、昼夜を問わず、数時間の周期で活動と休息を繰り返していると推測される。頭胴長8～10cm、尾長3～4cm。体毛は、黒色から黒褐色でビロード状。 (出典:国営越後丘陵公園[公園の哺乳類])

表13. 確認された ほ乳類

科 名	種 名 (和 名)	春季調査	秋季調査	備 考
		5 月 29 日	10 月 8 日	
食肉目（ネコ目）（1科1種）				
イタチ科	テン	○		フンを確認
食虫目（モグラ目）（1科2種）				
モグラ科	コウベモグラ	○	○	塚とトンネルを確認
	ヒミズ		○	トンネルを確認

(6) 魚介類

3 目 4 科 4 種の貝類、1 目 1 科 1 種の甲殻類が確認された。

表 1 4. 確認された主な魚介類

和 名	種 類
 オカモノアラガイ	陸産種で、中部地方以北、北海道、千島列島、樺太に分布し河川や沼のほとりに生える草の間にすむ。長楕円形で、殻高 25mm、殻径 15mm ぐらいに達し、殻は非常に薄く、黄褐色で半透明である。夏に白い卵塊を産む。 (出典:小学館 日本大百科全書)
 ツクシマイマイ	森林内～林縁に生息し、日中は落ち葉や朽木の下に潜み、あるいは樹幹や樹上の葉などに付着して休止し、夜間や降雨時などに這い出て活動する。殻は右巻き、日本産カタツムリとしては比較的大型で、一般的には殻高 20～24mm、殻径 30～40mm 程度。 (出典:ウィキペディア)

表 1 5. 確認された魚介類

科 名	種 名 (和 名)	春季調査	秋季調査	備 考
		5 月 29 日	10 月 1 日	
軟体動物門 腹足綱 (2 目 3 科 3 種)				
アマオブネガイ目 (1 科 1 種)				
アマオブネガイ科	イシマキガイ	○	○	
マイマイ目 (2 科 2 種)				
オカモノアラガイ科	オカモノアラガイ		○	
オナジマイマイ科	ツクシマイマイ	○	○	
軟体動物門 二枚貝綱 (1 目 1 科 1 種)				
マルスダルガイ目 (1 科 1 種)				
シジミ科	タイワンシジミ		○	
節足動物門 甲殻綱 (1 目 1 科 1 種)				
エビ目 (1 科 1 種)				
ザリガニ科	アメリカザリガニ	○	○	

6 まとめ

今回の調査では、のべ 202 科 510 種の生物が確認された（表 16 参照）。また、15 種の希少生物が確認された（表 17 参照）。

表 16. 調査結果まとめ

	目	科	種
植生・植物		95	303
鳥 類	5	16	23
昆 虫 類	12	61	142
クモ類	1	13	24
は虫類	2	4	4
両生類	2	6	6
ほ乳類	2	2	3
貝 類	3	4	4
甲殻類	1	1	1
合 計	28	202	510

表 17. 確認された希少生物まとめ

	IA類(国)	IB類(国)	Ⅱ類(国)	準絶(国)	その他
植 物		アゼオトギリ【IB類】 ハクチョウゲ	ヒメマサキ	ウズキモクセイ	コクモウクジャク【IA類】 ヒノキ【準絶】 サザンカ【準絶】 ミゾコウジュ【準絶】
鳥 類					センダイムシクイ【Ⅱ類】 オオルリ【準絶】
昆虫類					マイマイカブリ【準絶】 メスグロヒョウモン【準絶】
両生類			カスミサンショウウオ【Ⅱ類】		ヤマアカガエル【Ⅱ類】 ニホンヒキガエル【Ⅱ類】

※表中各列のタイトルは環境省のレッドリストの分類を表し、【 】内は、福岡県のレッドデータの分類を表す。

今年度は、延命公園周辺の片平山地区の調査を行った。調査は各分野 2 回（春季・秋季）行い、15 種の希少生物、1 種の特定外来生物を含む 510 種の生物を確認できた。

今後、片平山地区の自然環境の状況についてさらに把握を進めるためにも、さらなる調査の積み重ねが求められる。

発 行 日／令和 2 年 3 月
編集・発行／大牟田市環境部環境保全課
〒836-8666 大牟田市有明町 2 丁目 3 番地
TEL : 0944 (41) 2721 FAX : 0944 (41) 2722